

鮭川村学校教育の指針  
～「いのち」輝く 生きる力をもった 子どもの育成～

ウェルビーイングを目指し、いのち輝く「生きる力」（人間力の育成）に努める

◎「生きる力」 （下線・太字は「英明果断」の人づくりとつながる重視点）

- (1) 社会的・職業的に自立した人間として広い視野を持ち、理想を実現しようとする高い志や意欲を持って主体的に学びに向かい、必要な情報を判断し自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り拓ひらいていくことができる力
- (2) 対話や議論を通じて自分の考えを根拠を基に伝えるとともに、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って、多様な人々と協働したりしていくことができる力
- (3) 感性を豊かに働かせながらよりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに新たな問題の発見・解決につなげていくことができる力

令和8年度 学校教育の重点

1 こころ 【こころ豊かな 子どもの育成】

**心を育む 読書教育の推進**

- (1) 子どもの心の成長に資するため読書活動を推進する
- (2) 集団の中で、認め合い、思いやりや助け合いの心を育成する活動を推進する

2 まなび 【自ら学び 自ら考える 子どもの育成】

**「根拠」を持って「論理的」に説明する力の育成**

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を追究し、資質・能力を育成する
- (2) めざす子ども像に向け、カリキュラム・マネジメントを実践する
- (3) ICTの効果的活用により情報活用能力を育成する
- (4) 小中学校のつながりを重視した家庭学習力の定着を推進する
- (5) 生徒指導の4つの視点を生かした授業づくりを推進する

3 からだ 【健康で たくましい 子どもの育成】

**小中一貫による 健全な生活リズムづくり**

- (1) 家庭と連携して基本的な生活習慣を育成する
- (2) 児童生徒自らのメディアコントロール力を育てる

4 ふるさと 【ふるさとに学び ふるさとを愛する 子どもの育成】

**ふるさとを大切にする 学習の推進**

- (1) 地域と関わる生活科・総合的な学習の時間を充実する
- (2) 自然体験・伝統文化体験を取り入れた学習を推進する
- (3) 地域のよさを発見し、地域の魅力を発信する

～ 学習指導要領に準じた指導充実期～

- 英語力の向上 → 小学校：外国語活動・外国語科の充実  
中学校：話す力・書く力の重視
- 主体的・対話的で深い学びの実現 → 学校全体でのカリキュラム・マネジメントの実践
- ICTを活用した教育の推進 → 多様な考えを互いに確認できる活用

こころ

こころ豊かな 子どもの育成

施策と重点内容	実践項目
<p><b>1 心を育む読書教育の推進</b> 鯉川村子ども読書活動推進計画（第3次）2024～2028【5カ年計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 子どもの健やかな心の成長に資するため、読書活動を推進する。</li> <li>◎ 意図的に多くの機会を設定して読書習慣の形成を図る。（保小中連携しての推進活動）</li> </ul> <p><b>2 心の教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 「特別の教科 道徳」（道徳科）のなかで、本音を語る授業を実践する。</li> <li>◎ 「いのち」を大切に思う体験活動を推進する。</li> </ul> <p><b>3 豊かな人間関係づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 集団の中で認め合う人間関係づくり・思いやりや助け合いの心を育成する活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊かな心づくりのための読書環境・体制の工夫 ・小中一貫の朝読書の充実・読書と学習活動の接続</li> <li>○ 保小中を通じた読書活動の習慣化 毎月第1金曜日は、ファミリーデーにして「家庭における読書デー」を実践し、子どもと保護者に読書の重要性を啓発する。保・小・中）</li> <li>○ 自分事として受け止め、考え、議論する授業実践</li> <li>○ 異学年での交流活動・いのちの講話等（小・中）</li> <li>○ 個に応じた合理的配慮・理解し支える集団づくり（特別支援教育の充実 個・集団）</li> <li>○ Q-Uアンケートの結果を生かした学級集団づくりと活動推進</li> <li>○ SC・SSWと連携した教育相談</li> </ul>

まなび

自ら学び 自ら考える 子どもの育成

施策と重点内容	実践項目
<p><b>1 「根拠を持って論理的に説明する力」の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 「主体的・対話的で深い学び」を追究し、資質・能力を育成する。</li> <li>◎ めざす子ども像に向け、学校全体でカリキュラムマネジメントを確実に実践する</li> <li>◎ ICTの効果的な活用により情報活用能力を育成する。</li> <li>◎ 生徒指導の4つの視点を生かした授業づくりを推進する。</li> <li>◎ 家庭学習力の定着を計画的に推進する。</li> </ul> <p><b>2 外国語教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 英語を使う場づくりの工夫を推進する。 「目的」「場面」「相手」を意識した授業推進</li> <li>◎ 英語力向上への意欲を高める。</li> </ul> <p><b>3 保小中の切れ目ない特別支援教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 保小架け橋プログラムの作成</li> <li>◎ 切れ目ない支援体制の推進と情報共有を図る。</li> <li>◎ 個に応じた学びの指導と支援をつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校全体で推進するカリキュラムマネジメントを基本とした意図的・計画的・継続的な教育課程の推進</li> <li>○ 「つけたい力」からみた単元構成・計画の工夫と教科横断的な視点による学校全体での計画的な学力向上</li> <li>○ ICTを効果的に活用した授業の充実</li> <li>○ 生徒指導の4つの視点を生かした授業づくり</li> <li>○ 家庭学習につなぐ発展的な学習の推進と家庭学習指導の推進（小中の継続性を重視）</li> <li>○ 英語にふれる機会・使う機会を増やす場の設定 イングリッシュタイム（小）</li> <li>○ 小中を通しての英検への挑戦【中3で3級5割目標】</li> <li>○ 英検 Jr への挑戦【小5・6年】</li> <li>○ 架け橋期（年長時と1学年）のスムーズな連結</li> <li>○ 年中児健診から就学時健診までの教育支援の継続</li> <li>○ 推進委員会を核とし保小中・福祉・医療等関係機関が連携した特別支援教育の充実</li> <li>○ 障がいに応じた効果的な指導の工夫、児童生徒の自立と将来の進路を意識した教育活動の推進</li> </ul>

からだ

健康で たくましい 子どもの育成

施策と重点内容	実践項目
<p><b>1 小中一貫による健全な生活リズムづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 家庭と連携して基本的な生活習慣を育成する。</li> <li>◎ 児童生徒自らのメディアコントロール力を育てる。</li> </ul> <p><b>【メディアコントロール力】</b> テレビ・ゲーム・SNS等の視聴、使用時間・内容を適切にコントロールできる力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒自らが判断し行動できる場の設定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習と読書への意欲化（小中の継続性を重視）</li> <li>・学習の見通しを持たせる計画表の作成</li> </ul> </li> <li>○ メディアについて学ぶ場や主体的判断の場の設定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア教育・SNS講話等・児童会生徒会活動</li> </ul> </li> <li>○ 小中合同での生活リズム調査・アンケートの実施                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活実態把握による児童生徒・保護者の意識化</li> </ul> </li> <li>○ 「早寝・早起き・朝ゲーム」のスローガン推進</li> <li>○ 「全国体力、運動能力調査」の結果の授業への活用</li> <li>○ 運動量を十分に確保した体育授業の推進</li> </ul>
<p><b>2 基礎体力の向上に向けたスポーツの充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 学校内外の体育行事での体力向上を推進する。</li> <li>◎ 基礎体力・運動技能の向上を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的に安全を確保するための危機管理能力（危険予測・回避能力）の育成</li> <li>○ 学校安全日の確実な実施と児童生徒の目による通学路の安全確認と意識化</li> <li>○ 自他の命を守る安全学習・安全指導の徹底</li> <li>○ 合理的配慮のある施設・設備の充実</li> </ul>
<p><b>3 安全教育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自他の生命を尊重し、主体的に安心・安全を確保しながら生活する重要性について意識し、実践できる児童生徒の育成を図る。</li> <li>◎ 特別な支援が必要な児童生徒の安心・安全な環境を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的に安全を確保するための危機管理能力（危険予測・回避能力）の育成</li> <li>○ 学校安全日の確実な実施と児童生徒の目による通学路の安全確認と意識化</li> <li>○ 自他の命を守る安全学習・安全指導の徹底</li> <li>○ 合理的配慮のある施設・設備の充実</li> </ul>

ふるさと

ふるさとに学び ふるさとを愛する 子どもの育成

施策と重点内容	実践項目
<p><b>1 ふるさを大切に学習の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 地域に学ぶ生活科・総合的な学習の時間を充実する。</li> <li>◎ 自然体験・伝統文化体験を取り入れた学習を推進する。</li> <li>◎ ふるさとの良さや魅力を学び、ふるさとと自分を見つめなおす学習を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域のよさを学び、発信する学習の展開</li> <li>○ 地域の実態を知り、課題解決を考える学習の推進</li> <li>○ 地域の一員として地域にどのように貢献するかを探る学習の推進（中）</li> <li>○ 地域の一員としての伝統文化活動の体験と継承 「羽根沢節」（小3）「段の下田植え踊り」（小4） 「鮭川歌舞伎」（小5）「さけがわ清流太鼓」（小6）</li> </ul>
<p><b>2 ふるさとのよさを実感する体験の重視</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ふるさとに関わる食育教育を充実する。</li> <li>◎ ふるさとの食文化に触れる体験への参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地産地消給食（鮭川の日給食）月2回（第2・4木） （オールさけがわ給食）年1回</li> <li>○ さけまる君栄養教室・鮭の新切り教室・きのこ王国まつり等での体験</li> </ul>
<p><b>3 小中通じて育む「キャリア教育」の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ふるさとの未来を担う心を育成する。</li> <li>◎ 地元の職業のよさを体験する活動を推進する。</li> <li>◎ 自分の将来を考える多様な場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元の職業・仕事を知る体験活動の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわくワーク仕事体験会（小6・中1・中2）</li> <li>・地元の職業の体験・講話・職場体験学習（中3）</li> </ul> </li> <li>○ 修学旅行での職場・企業訪問</li> <li>○ 小中連携した「キャリア・パスポート」の作成</li> </ul>